

## 平成29年度・第3学期始業式校長式辞

いつものことですが、始業式に臨む皆さんの姿はとても立派ですね。寒い中、時間前に整然と並んでいます。本当にここまでの皆さんの成長が嬉しいです。

本日、無事に3学期始業式を迎えることができました。そして平成30年を迎えることができました。今年は3年生にとって人生の大きな転機となる年ですね。まもなく受験を迎えて進路を決め、4月から新たな生活が待っています。今の友や先生と別れ、慣れ親しんだ西中ともお別れの時が迫ってきました。1、2年生の皆さん、3年生は校長面接で後輩たちにこんな言葉を残してくれました。

”もっと1、2年生の時に勉強しておけば良かった”・・・自分自身に後悔しつつも後輩に向けての思いやりに溢れる言葉です。きっと3年生は厳しい受験勉強を経験して改めて実感した思いなのでしょう。この言葉を1、2年生はどう受け止めますか。全ての3年生の進路決定が上手くいくことを願っています。

さて本日は、皆さんに「与える幸せ」というお話をします。皆さんは今、体育館を温めてくれているジェットヒーターのお陰で寒さをあまり感じることなくいられますよね。このヒーターはバレーボール部の皆さんが自主的に準備してくれました。仲間や学校のためを思って朝早くから準備してくれました。快適な環境の中での始業式は、多くの人を幸せにしてくれました。なかなかできることではありません。それは自分のためというよりもみんなのためであり学校のためだからです。人は誰でも自分のためなら頑張れるのです。

私たちは毎日、幸せを求めて生きています。受験勉強を頑張ることも希望する学校に合格することも美味しい食べ物を食べ、綺麗な服を着て、立派な家に住むことなどの夢や希望を叶えることも全て幸せになりたいからです。しかし人は自分の夢や希望が叶っても、すぐに新たな夢や希望を抱きます。そしてその夢や希望が叶わないと自分を責めたり、他人のせいや環境のせいにして責めたりします。たとえ一時の夢や希望が叶ったとしても、結局自分の将来にとって無駄であったり障害になることもあるのです。私は自分の夢や希望が叶うことが必ず自分の幸せになるとは思っていない。

では幸せになるためにはどうしたらいいのでしょうか。それは人の役に立つことです。まさに本校のバレー部の皆さんがジェットヒーターを準備してくれたように仲間や集団のために力を尽くすことです。そして周囲の人たちから「あなたのお陰で助かった」「あなたがいてくれてありがとう」・・・という信頼を得る関係を多くの人と持つことです。人はどんなに頑張っても一人では生きていけないのです。人は皆、助け合って生きています。だからこそ自分が困った時、助けてくれる人がいてくれるとどんなに安心できることか・・・。この世の中は人のために力を尽くさない人は、人から力を得ることはありません。これが世の真理

です。自分の幸せを願うのならば、どうか自分と同じ様に人の幸せを願って力を尽くして下さいね。難しいことはありません。人の喜びを心から喜び、人の悲しみを心から悲しむ心さえあれば大丈夫です。

今年も世の中はますます大きく変化し、新たな考えや情報が生まれ、科学技術が飛躍的に進歩することでしょう。どんなに世の中が進歩しようとな変化しようとも人は心で生き、心で幸せを感じるのです。どうか今年も人のために役立つ人として家族や仲間や学校のために力を尽くして下さい。そして多くの人と信頼関係を結んで、幸せを実感できる年にして下さい。今年も多くの皆さんが幸せを感じられる大井西中学校を皆さんと一緒に創っていきましょう。

平成30年1月9日

校長 山崎 祐一